

ウェスレー・メソジスト学会

2025 9 / 15 (月)



青山学院大学正門右（ウェスレー像のある総研ビル8階 第10会議室）

1 : 30 ~ 2 : 00 総会 / 2 : 30 ~ 5 : 00 研究会

1. 富田雄治氏（JECA取手教会牧師）

「20世紀英国のメソジスト系神学者たち：C.E.Bクランフィールド、C.K.バレット、H.I.マーシャルのメソジスト性」

富田氏は、今年正会員としてお迎えしました。ゴードン・コンウェルでは教会史で修士、英国ダラム大学では旧約学で博士号を取得。20世紀英国新約学の金字塔とも言える3人は、いずれもメソジスト新約学者、またクランフィールドとバレットは、富田氏が学ばれたダラムで教鞭を執りました。

2. 臼田尚樹氏（日本キリスト合同教会 板橋教会牧師／東京聖書学校教師）

「アパ・ルームを通して見るウェスレーの祈りの伝統」

臼田氏は、先日正会員としてお迎えしました。アパ・ルームは米国メソジスト教会のデボーション雑誌で、今年は70周年を迎える。臼田氏は日本版の編集長。博士論文は「聖書における祈りの洞察と変遷——祈りの神学的考察と実践的課題」

3. 大頭眞一氏（日本イエスキリスト教団 京都信愛・天授ヶ岡教会牧師）

「三位一体とキリスト者の完全とアウグスチヌス」

大頭氏は、何度も学会誌に寄稿をしてくださっています。研究は東方教父とウェスレーに始まり、キリスト者の完全・聖化論の現代における改訂、さらに三位一体論を専門としておられます。

4. 阿部頌栄氏（ナザレン 仙台富沢教会牧師）

「フランス・アズベリーとアメリカ・メソジスト教会草創期」

阿部氏は、現在牧会の傍ら、東北学院大学文学研究科ヨーロッパ文化史専攻博士後期課程在籍しています。今回、アズベリーが北米メソジストの初期指導者であり、その影響は多大なものであったにもかかわらず、独自の思想家、神学者とはみなされることがなかったため、これまであまり注目されてこなかったことを考え、ご研究を紹介させていただきます。

研究会は対面、ならびにzoomで行われます。

<https://us02web.zoom.us/j/8240242962?pwd=VTI0YU40WmNhN3ZlQTdSTHlPeEpvUT09>

ミーティングID 824 024 2962

パスコード MjXiW4 (MXWは、大文字)